

事例
15

あの企業はこう使っている!

事例に学ぶIT・IoT導入

株式会社 多田文房堂



オフィス家具、文具、OA機器、リサイクル家具、感染症対策グッズの販売、オフィスのリニューアルなど、オフィスに関する製品やサービスを幅広く取り扱っています。

TADABUN

〒761-0302
香川県高松市上林町501-1
TEL 087-887-0377
HP <https://www.tada-b.co.jp/>

なんとなく「便利になりそう」とは思うものの「ウチの会社で、どう使ったらいいイメージが湧かない...」。
そんな皆さま必見のコラムです。
高松のIT・IoT先進企業（リーディングカンパニー）が、IT・IoTをどう活用しているかを毎月連載で紹介いたします。
第15弾は、株式会社多田文房堂。代表取締役社長の多田宗弘さんにお話を伺いました。

フリーアドレス制&IT導入で

自信を持って仕事ができる職場環境を

経営の危機感から
バックグラウンド改革に
着手

多田文房堂では、5年前の代替わり前まで、名刺の管理は各担当者に属人化していたり、営業日報などは手書きの紙をファイリングするなどアナログな方法で管理していました。また、経理はペーランの担当者が経験を頼りに一人でこなし、経営陣も正確な数字の把握ができていない状況。当時の経営に危機感を抱いた多田社長は、社長就任後すぐにITツールの導入を検討し、バックグラウンド改革に着手しました。

クラウド型サービスで
業務効率と生産性UP

同社が導入したITツールは、「会計ソフト」「グループウェア」「顧客管理システム」の3つのクラウド型サービス。それぞれの用途は違いますが、どれも外出先や自宅といったオフィス以外の場所からもアクセス可能で、場所を選ばず働くことができます。また、情報共有や業務の見える化、ペーパーレス化などによって

経理や営業、事務管理がスムーズに回るようになり、業務の属人化解消や効率化による生産性向上へとつながっています。

先進的な
オフィス環境整備で
働き方改革を発信

2020年、同社は現在地に本社を移転しました。新社屋では県内初のライブオフィスとして、社員が実際に働く姿をショールームとして公開。個々が自席をもち、自由に移動し働けるフリーアドレスを導入し、業務の円滑な運営をITツールが支えています。「日本型の働き方は、決まった時間に決まった席に座って、全員が集まって会議をして、というのが定番ですが、海外では、こういった時間や場所に縛られた働き方は、生産性やモチベーションの点からマイナーとなりました。オフィス機器を扱う当社だからこそ、オフィスを軸にした働き方改革を発信していくことが使命だと考えています」と多田社長。自社をモデルに地域の働き方改革をリードしています。

社長の声

クラウド型ITツールの導入でペーパーレス化。
働く時間・場所の制約がなくなる

クラウド型ITツール

顧客管理システム
Sales force

- ・日報、案件管理などをスマホで管理可能に
- ・売上がタイムリーに可視化
- ・手厚いサポートでスムーズな運用が可能

会計ソフト
Money Forward

- ・経理関連の自動化で属人化解消に
- ・未入金防止にも

グループウェア
Google Workspace

- ・営業と社内の連携が円滑化
- ・カレンダー共有機能で営業の動きが分かるように

オフィス内 外出先 テレワーク

- 効果
- 経理関連に割く時間が格段に短縮
 - 資料を探す時間の大幅削減
 - 経営者が営業活動の内容を把握できるように

生産性・業務効率UP

図解

クラウド型ITツールで
ペーパーレス化&業務効率UP

営業日報をはじめ、紙での管理が中心

オフィス内

あの資料どこ...?

顧客管理

経理関連

etc...

営業から電話やメール応答なし

黒字のはずが赤字!?

課題

- 月次試算が数カ月遅れ。決算もあやふやになっていた
- すぐに使いたい資料が見つからず、探すことに時間がかかる
- 営業の予定を把握できておらず、営業と社内の連携がうまくいかない